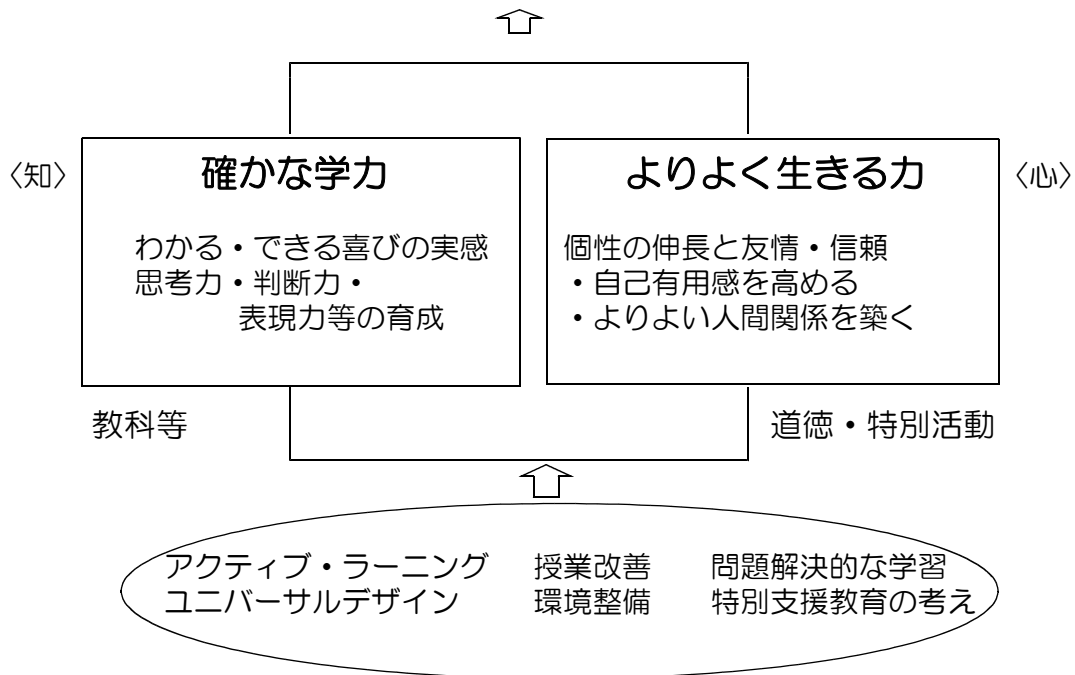


2 目指す子どもの姿と共通実践事項

① 目指す子どもの姿

・自分や相手のよさを認め合い、互いに助け合うことができる子ども

・自分の思いや考えを主体的・創造的に伝え合うことができる子ども



② 授業における共通実践事項

・自分や相手のよさを認め合い、互いに助け合うことができる子ども

I 道徳の時間及び特別活動の充実

○学習を支える基盤として、一人一人が自己を見つめ、他と学び合う心を育む

- ・自分と異なる思いや考え、価値観を認め合える、互いを尊重し合う学級集団づくり
- ・全教育活動に関わる道徳教育の実践と「道徳の時間」の実践研究
- ・道徳性の評価
- ・道徳コーナーの設置と整備

・自分の思いや考えを主体的・創造的に伝え合うことができる子ども

II 確かな学力の向上

○楽しく「わかる・できる」学習で「思考力・判断力・表現力等」の育成

アクティブ・ラーニングやユニバーサルデザインの視点からの授業改善

- ・全員の子どもが、楽しく「わかる・できる」ような授業の焦点化、視覚化、共有化
- ・単元及び本時のねらいと身に付けたい力を明確化とゴールに直結する「ねられた問い」による課題提示の工夫
- ・学び合いの喜びが実感できる子ども同士で解決に向けて考えを共有化する話合いの場や振り返りの場の充実
- ・授業とリンクした、より主体的な家庭学習の充実

